

奈良県教育委員会

週報

第2273号

平成29年6月22日発行

目 次

(件 名)	(宛 先)	(主管課)	(頁)
第63回青少年読書感想文奈良県 コンクールの実施について	各市町村教委教育長 各 学 校 長	学校教育課	1
平成29年度奈良県小・中学校 国語科書写指導者講習会の開催に ついて	各市町村教委教育長 各 小 ・ 中 学 校 長 各 中 等 教 育 学 校 長 各 特 別 支 援 学 校 長	学校教育課	7
第67回全国小・中学校作文コンク ール「奈良県コンクール」の実施に ついて	各市町村教委教育長 各 小 ・ 中 学 校 長 各 中 等 教 育 学 校 長 各 特 別 支 援 学 校 長	学校教育課	9
平成29年度奈良県学校図書館研究 大会の開催について	各市町村教委教育長 各 学 校 長	学校教育課	12
平成29年度奈良県中学校英語スピー ーチ・レシテーションコンテストの 開催について	各市町村教委教育長 各 中 学 校 長 各 中 等 教 育 学 校 長 各 特 別 支 援 学 校 長	学校教育課	14
第48回奈良県大芸術祭「学校音楽 祭」の開催について	各市町村教委教育長 各 学 校 長	学校教育課	17
平成29年度学校学生生徒旅客運賃 割引証（学割証）の交付について	各公立中・高等学校長 各 特 別 支 援 学 校 長	学校教育課	19
第44回奈良県ジュニア美術展覧会 の開催について	各市町村教委教育長 各 中 ・ 高 等 学 校 長 各 中 等 教 育 学 校 長 各 特 別 支 援 学 校 長	人権・地域 教育課	21
平成29年度小学校運動会等の表現 運動・ダンス指導者講習会の開催に ついて	各市町村教委教育長 各 小 学 校 長 各 特 別 支 援 学 校 長	保健体育課	24
家庭教育支援講師の情報提供につい て	各市町村教委教育長 各 公 立 学 校 （ 園 ） 長	教育研究所	27

平成29年度奈良県幼児教育研究会 実技研修会の開催について	各市町村教委 各園	教育長 長	教育研究所	32
平成29年度奈良県幼児教育研究会 教育講演会の開催について	各市町村教委 各園	教育長 長	教育研究所	34
へき地学校に係る家庭教育支援事業 について	各市町村教委 各公立学校	教育長 (園)長	教育研究所	36

(次の週報は、平成29年7月6日(木)発行の予定です。)

各市町村教委教育長 } 殿
各 学 校 長 }

奈良県教育委員会教育長

第63回青少年読書感想文奈良県コンクール の実施について（通知）

このことについて、下記のとおり実施しますので、応募についてよろしくお願いします。

記

1 趣 旨

青少年が本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書の習慣化を図り、その読書の感動を文章に表現させることを通して、豊かな人間性や考える力を育むとともに、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県学校図書館協議会

3 応募資格及び区分

応募者は、満20歳までの県内の小・中・高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の児童生徒とし、それぞれ次のように区分する。

- (1) 小学校及び特別支援学校小学部低学年の部（1、2年）
- (2) 小学校及び特別支援学校小学部中学年の部（3、4年）
- (3) 小学校及び特別支援学校小学部高学年の部（5、6年）
- (4) 中学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の部
- (5) 高等学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の部

4 応募対象の図書

(1) 課題読書

主催者の指定した図書【課題図書】

別記のとおり。同一部内における学年指定はない。

(2) 自由読書

自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問わない。

ただし、教科書・副読本・読書会用テキスト類又はこれに準ずるもの・雑誌（別冊付録を含める。）・パンフレット類・日本語以外で書かれた図書及び主催者の指定した図書は対象としない。

5 用紙及び字数

(1) 400字詰原稿用紙を使用すること。

(2) 字数は以下の範囲を厳守すること。

- ・小学校及び特別支援学校小学部低学年の部は、800字以内
- ・小学校及び特別支援学校小学部中学年・高学年の部は、1,200字以内
- ・中学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の部は、2,000字以内
- ・高等学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の部は、1,801字以上2,000字以内

(3) 句読点はそれぞれ一字に数える。改行のための空白箇所は、字数として数える。

(4) 題名、学校名及び氏名は、字数として数えない。

6 応募作品

(1) 応募は日本語で書かれた作品に限る。

(2) 応募は自由読書、課題読書それぞれに一人1編ずつ応募できる。

(3) 応募は、個人のオリジナルで未発表の作品に限る。他の類似コンクールとの二重応募は認めない。

(4) 応募作品は、理由を問わず返却しない。

(5) 応募作品の著作権、版権は主催者に帰属する。

7 作品の提出方法等

(1) 児童生徒は学校を通じて提出すること。

(2) 作品は、自筆のものを提出すること（コピー・ワープロは不可。自筆不可能の場合は理由を添えて提出すること。）。

(3) 応募票（別紙様式1）に必要事項を記入し、作品の上部、右肩にホチキスで留めること。

(4) 応募作品集計表（別紙様式2）に必要事項を記入し、添付すること。

(5) 学校からの応募点数は、小学校、中学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校小学部・中学部の部は各学校の学級数、高等学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の部は各学校の学級数の1/6以内とすること。

8 応募締切日及び作品の提出先

(1) 応募締切日 平成29年10月2日（月）

(2) 提出先

ア 小学校及び特別支援学校小学部の部

〒635-0072 大和高田市有井1

大和高田市立磐園小学校 教諭 生駒 香織

イ 中学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の部

〒630-0131 生駒市上町3000

生駒市立上中学校 教諭 寺田 澄子

ウ 高等学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の部

〒631-0806 奈良市朱雀2-1-1

県立平城高等学校 教諭 柳屋 晴美

9 審査

審査員 奈良県教育委員会、奈良県学校図書館協議会、奈良県国語教育研究会、
奈良県立図書情報館、毎日新聞社奈良支局

10 入賞発表及び表彰

入賞者については、平成29年12月に各学校長を通じて通知する。また、毎日新聞を通じて発表する。

表彰式は、平成30年2月18日(日)に行う予定。

11 その他

県審査の結果、部ごとに、課題読書1編、自由読書1編の合計2編を中央審査会に送付する。

第63回青少年読書感想文奈良県コンクール (課題図書)

	著者	書名	出版社	本体価格
小学校	楠 章子 作 いしい つとむ 絵	ばあばは、だいじょうぶ	童心社	1,300円
	くさの たき 作 つじむら あゆこ 絵	なにがあってもずっといっしょ	金の星社	1,200円
低学年	ジャーヴィス 作 青山 南 訳	アランの歯はでっかいぞこわーいぞ	B L 出版	1,500円
	キム・ファン 文 イ・スンウォン 絵	すばこ	ほるぷ出版	1,500円
小学校	岡野 かおる子 作 上路 ナオ子 絵	くろねこのどん	理論社	1,400円
	茂木 ちあき 作 ゆーちみえこ 絵	空にむかってともだち宣言	国土社	1,300円
中学校	ナンシー・チャーニン 文 ジェズ・ツヤ 絵 斉藤 洋 訳	耳の聞こえないメジャーリーガー ウィリアム・ホイ	光村教育図書	1,400円
	森枝 卓士 写真・文	干したから...	フレーベル館	1,400円
小学校	いとう みく 作 こがしわ かおり 絵	チキン!	文研出版	1,300円
	戸森 しるこ 著 佐藤 真紀子 絵	ぼくたちのリアル	講談社	1,300円
高学年	アン・ブース 著 杉田 七重 訳 橋 賢亀 絵	霧のなかの白い犬	あかね書房	1,400円
	臼井 二美男 著	転んでも、大丈夫：ぼくが義足を作る理由	ポプラ社	1,200円
中学校	鳴海 風 作 伊野 孝行 画	円周率の謎を追う：江戸の天才数学者・関孝和の挑戦	くもん出版	1,500円
	キャシー・アッペルト アリスン・マギー 著 吉井 知代子 訳	ホイッパーウィル川の伝説	あすなる書房	1,400円
	佐伯 和人 作	月はぼくらの宇宙港	新日本出版社	1,500円
高等学校	古内 一絵 作	フラダン	小峰書店	1,500円
	荻原 浩 著	ストロベリーライフ	毎日新聞出版	1,600円
	大塚 敦子 著	犬が来る病院：命に向き合う子どもたちが教えてくれたこと	KADOKAWA	1,500円

※表示は、全て本体価格（お買い求めの際には別途消費税が加算されます。）

(別紙様式1) ※この票は、楷書で書いて作品の右上にホチキスで貼付してください。

第63回青少年読書感想文

奈良県コンクール

応募票

応募区分	課題読書
	自由読書 (○で囲んでください)

感想文の題名							
所 属	(ふりがな) 学校名	奈良県	市郡	町村			
	()	()	立	学校			
属	(ふりがな) 学校所在地 <small>(電話番号は市外局番から記入)</small>	(〒)	(電話 - -)	()			
		()					
応 募 者	部・学年	小低・小中・小高・中学・高校			学年	年	
	(ふりがな) 氏名	()			男・女		
	生年月日・年齢	年 月 日生 (歳)					
対 象 図 書 読 ん だ 本	著者・編者 訳者・画家						
	書名 <small>※サブタイトル名も記入</small>						
	シリーズ名・文庫名						
	発行所・発行年	発行所	発行年				
			初版発行年				
定価 大きさ ページ数	定価	円	大きさ	縦の長さ cm	ページ数		
		(本体 円)					
感想文執筆に際し参考にした資料の有無 <small>(どちらかを○で囲んでください)</small>	有・無	(参考にしたもののタイトルやHPアドレスなどを具体的に記入してください)					

※必ずお読みください

1. 分かりやすく楷書で記入し、作品の上にホチキス留めしてください。
2. 「対象図書 読んだ本」欄は対象図書を特定するため、もれなく記入してください。
3. 記入もれは失格となる場合もありますので、もれのないように記入してください。
4. 応募票に記入された氏名・学校名・学年・感想文の題名・対象図書名は、毎日新聞社及び全国学校図書館協議会・奈良県学校図書館協議会の刊行物・ホームページで公表することがあります。御了解の上御記入ください。

(別紙様式2)

第63回 青少年読書感想文奈良県コンクール応募作品集計表

学校名	記入者名
-----	------

奈良県コンクールに応募していただく作品数にあわせて、児童生徒が取り組んだ総数を正確に把握したいと考えています。つきましては、下表「作品総数」「奈良県コンクールの応募数」の両方に御記入をお願いします。

作品総数（感想文の総編数）			
部	課題読書	自由読書	合計
小学校低学年の部	(a) 編	(b) 編	(a)+(b) 編
小学校中学年の部	(a) 編	(b) 編	(a)+(b) 編
小学校高学年の部	(a) 編	(b) 編	(a)+(b) 編
中学校の部	(a) 編	(b) 編	(a)+(b) 編
高等学校の部	(a) 編	(b) 編	(a)+(b) 編
合計	(a) 編	(b) 編	(a)+(b) 編

奈良県コンクールの応募数		
課題読書	自由読書	合計
(a) 編	(b) 編	(a)+(b) 編

各市町村教委教育長
各小・中学校長
各中等教育学校長
各特別支援学校長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

平成29年度奈良県小・中学校国語科書写指導者講習会 の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 目的

子どもたちが楽しく自主的に学ぶための授業に生かせる書写指導の講習会を実施し、国語科書写教育の振興・充実と指導力の向上を図る。

2 主催

奈良県教育委員会、奈良県小・中学校書写教育研究会

3 期日及び会場

平成29年8月2日（水）

いかるがホール 生駒郡斑鳩町興留10-6-43

4 参加対象

県内小学校、中学校及び中等教育学校前期課程並びに特別支援学校小・中学部の教員

5 日程

9:45～10:00 開講式

10:00～11:00 硬筆の基礎

11:10～12:10 毛筆の基礎

13 : 10 ~ 14 : 10 行書の基礎

14 : 20 ~ 15 : 20 授業に生かせる作品づくり

15 : 20 ~ 15 : 40 閉講式

6 講師

奈良県小・中学校書写教育研究会 会長 生井 圭造 他、同研究会役員及び幹事
県教育委員会事務局学校教育課 指導主事 藤井 義秀

7 準備物

(1) 鉛筆 (B 又は 2B)、はさみ、カッターナイフ

(2) 毛筆書写用具一式

8 参加費

無料 (ただし、資料代及び材料費は参加者負担)

9 参加申込み

平成29年4月6日付け週報第2267号掲載の参加基本様式により、職名、氏名を記入の上、平成29年7月14日(金)までに下記宛てFAX又は郵便で申し込むこと。また、各校に配布した会誌の申込様式による申込みも可。

〒630-0226 生駒市小平尾町927 生駒市立生駒南第二小学校内

奈良県小・中学校書写教育研究会事務局 諸岡 恭子

FAX 0743-76-7255

10 その他

参加希望が定員(50名)になり次第、締切りとする。

各市町村教委教育長
各小・中学校長
各中等教育学校長
各特別支援学校長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

第67回全国小・中学校作文コンクール「奈良県コンクール」 の実施について（通知）

このことについて、下記のとおり実施しますので、応募についてよろしくお願いします。

記

1 趣 旨

児童生徒の豊かな表現力を育成するとともに、国語教育の振興を図る。

2 主 催

奈良県教育委員会、読売新聞社

3 応募規定

(1) 応募資格

県内小・中学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校小・中学部に在学する児童生徒

(2) 部門

小学校低学年の部、小学校高学年の部及び中学校の部

(3) 題材

自由

(4) 用紙及び字数

ア 400字詰原稿用紙を使用すること（右端をホチキスで留める。）。

イ 字数の制限はなし。

(5) 原稿

1人1編で、自筆（鉛筆、B又は2B）に限る。自筆によることが困難な場合は、代筆することも可能。ただし、学校長の証明書を添付すること。

(6) その他

作品は自作、未発表のものに限る。

4 応募方法

(1) 応募作品には、別紙様式による応募票を付けること。

(2) 応募は、学校ごとに取りまとめて送付すること。

(3) 一つの学校から何点応募してもよい。

5 締切日

平成29年9月13日（水）

6 送付先

〒630-8001 奈良市法華寺町141-1

読売新聞奈良支局「作文コンクール」係

TEL 0742-34-1101

7 審査

県の審査会によって行い、各部門の入賞及び佳作作品を決定する。入賞者及び佳作者には、学校長を通じて通知する。

なお、入賞作品のうち、小学校低学年及び高学年の部並びに中学校の部から、各1編を「全国コンクール」（読売新聞社主催、文部科学省後援）に送付する。

8 表彰

表彰式は、平成29年12月中旬に行う予定

9 著作権

入賞及び佳作作品の著作権は主催者に帰属する。作品は返却しない。

(別紙様式)

	第67回全国小・中学校作文コンクール 「奈良県コンクール」応募票
題 名	
フリガナ 氏 名	
学 年 ・ 組	
フリガナ 自 宅 住 所	
自宅電話番号	
フリガナ 学 校 名	
フリガナ 学 校 所 在 地	
----- 学校電話番号	
フリガナ 指 導 者	

平成29年6月22日

各市町村教委教育長 } 殿
各 学 校 長 }

奈良県教育委員会教育長

平成29年度奈良県学校図書館研究大会の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係職員の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

情報交換・研究協議を通して、これからの時代に対応した学校図書館の在り方と、学校図書館運営の今後の方策を探る。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県学校図書館協議会、県立図書情報館

3 研究主題

これからの学校図書館の在り方

4 期日及び会場

期日 平成29年8月4日（金）

会場 県立図書情報館 交流ホール 奈良市大安寺西1丁目1000番地

5 参加対象者

県内小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の学校図書館担当者

6 日 程

10:00～10:30 開会行事

10:30～12:00 講 演

13:00～15:00 分科会

15:00～16:00 館内見学

7 講演

演題 「国語教育と図書館 ―私と仕事と勉強と―」

講師 日本弁論連盟理事 漢字教育士 吉田 猛

8 分科会

(1) 小学校・中学校部会（分科会番号：A）

研究主題 「読書力をきたえ、生涯学習の基盤をつくる学校図書館

―ラーニング・コモンズの創造―

発表 「読書活動活性化事業の取り組み

―中学生を図書室に呼び込む工夫―

発表者 五條市立野原中学校 上明代 千恵子

(2) 高等学校部会（分科会番号：B）

研究主題 「学校図書館の可能性 ―学びへの誘い―」

発表① 「これからの学校図書館のあり方

―西の京高等学校における読書活動の実践から―

発表者 県立西の京高等学校 佐藤 舞

発表② 「学校図書館におけるレファレンスとその活用」

発表者 奈良県高等学校図書館研究会 学校司書部会 レファレンス班

9 参加申込み

平成29年4月6日付け週報第2267号掲載の行事参加等共通仕様書により、職名、氏名、参加分科会番号（(A)項目欄）を記入の上、平成29年7月20日（木）までに下記宛てFAX又は郵便で申し込むこと。

(1) 小学校及び中学校

〒634-0114 生駒市鹿ノ台西1丁目5-2

生駒市立鹿ノ台小学校 教諭 谷口 隆紀

FAX 0743-78-8824

(2) 高等学校、中等教育学校及び特別支援学校

〒631-0806 奈良市朱雀2丁目11番地

県立平城高等学校 教諭 柳屋 晴美

FAX 0742-71-2093

10 その他

(1) 会場へは、公共交通機関を利用すること。

(2) 昼食は各自用意すること。

各市町村教委教育長
各 中 学 校 長
各中等教育学校長
各特別支援学校長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

平成29年度奈良県中学校英語スピーチ・レシテーション
コンテストの開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係生徒の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

中学校の英語学習における「聞くこと」「話すこと」の言語活動を活性化させ、英語教育の振興を図る。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県中学校教科等研究会英語部会

3 日 時

平成29年9月26日（火） 9：30～16：30

4 会 場

奈良県橿原文化会館 小ホール 橿原市北八木町3丁目65-5

5 参加対象者

- (1) 県内の国・公・私立中学校及び中等教育学校前期課程並びに特別支援学校中学部に在籍する生徒
- (2) 審査の公平を期するため、英語の習得環境が平均的中学生と比べ優位であると考えられる下記の者は、参加できない。

ア 満5歳の誕生日以降に、通算1年以上又は継続して6か月以上、英語を第一言語、公

用語又は公用語に準ずる言語として使用する国・地域（注）に居住した者

イ 日本国内、海外を問わず、6か月以上、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校（アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール又は授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む。）に在籍したことのある者

ウ 保護者又は同居親族に、家庭内で英語を主たる言語として使用している者又は上記アに該当する者がいる場合

（注） 居住経験のある国・地域が上記アに記されている「国・地域」に該当するかどうかについては、下記の高円宮杯ホームページを参照すること。

<http://www.jnsafund.org>

6 参加部門と定員

A部門（スピーチの部）、B部門（レシテーションの部）それぞれの部門に、各校1名の生徒が参加できる。

7 題材と制限時間

（1） A部門（スピーチの部）：参加生徒の自作のスピーチに限る。スピーチの内容も審査の対象となる。

（2） B部門（レシテーションの部）：現在、各校で使用中の教科書又は教科書以外のものから自由に選択できる。

（3） A部門は5分以内、B部門は4分以内とする。また、視覚に訴える道具の使用及び過度な演出・演技はしないこと。演壇の前や横に出て発表することは原則として禁止する。

8 表彰

A・B部門とも1位から5位までを表彰する。

なお、A部門の1位から3位までの入賞者は、高円宮杯第69回全日本中学校英語弁論大会に出場できる。

9 参加申込み

別紙様式により、平成29年9月8日（金）までに下記宛て郵送で申し込むこと。

〒630-0113 生駒市鹿ノ台南2丁目16番地

生駒市立鹿ノ台中学校 教諭 斉藤 稔

TEL 0743-78-7231

(様式)

平成29年度
奈良県中学校英語スピーチ・レシテーションコンテスト
参加申込書

参加者氏名 (ローマ字) (漢字)		性別	学年
A部門 (スピーチの部)	(タイトル名)		
B部門 (レシテーションの部)	(タイトル名)		
	教科書名等(教科書の場合は学年、課・ユニット等も記載のこと)		
学校名			
校長名	印		

※A部門(スピーチの部)、B部門(レシテーションの部)の両部門とも、その原稿の
A4版コピー5部を本申込書とともに送付すること。

※本書による申込みを受理した旨、9月19日(火)までに学校宛てFAXで通知します。

各市町村教委教育長 }
各 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

第48回奈良県大芸術祭「学校音楽祭」の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、参加申込みについてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

奈良県大芸術祭の一環として「学校音楽祭」を実施し、各学校からの参加を奨励して、本県における音楽教育の振興と音楽文化の向上発展に役立てる。

2 主 催

奈良県教育委員会、全日本音楽教育研究会奈良県支部、奈良県小学校教科等研究会音楽部会、奈良県中学校教科等研究会音楽部会、奈良県高等学校教科等研究会音楽部会

3 部 門

声楽部門、器楽部門（合唱奏を含む。）

4 期日及び会場

期日 平成29年10月21日（土）

会場 奈良県橿原文化会館大ホール 橿原市北八木町3-65-5

5 参加について

（1）参加資格

県内小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の児童生徒並びに大学等の学生

（2）演奏曲目及び時間

ア 曲目の選択及び演奏形態は自由。ただし、学習活動の一環としての演奏で、児童生徒及び学生の発達段階等に適合しているものとする。

イ 演奏時間は、1ステージにつき、出入り時間を含めて声楽部門は10分以内、器楽部門

は15分以内とする。

(3) 出演予定校数

声楽部門(10校)、器楽部門(10校)

(4) 参加申込み

下記の様式により、平成29年7月21日(金)までに下記宛てFAXで申し込むこと。

宇陀市立大宇陀中学校 教諭 山瀬 香

FAX 0745-83-3392

(様式)

学校名	
学校住所 TEL・FAX番号 メールアドレス	
指導代表者名	
部門(演奏形態)	
備考	〇〇学校と合同

※合同で参加する場合も各学校ごとに申し込むこと。その際には備考欄に

「〇〇学校と合同」と明記すること。

(5) 参加校には後日「参加申込書」、「舞台配置図」等を送付する。

(6) 経費について

ア 参加費用は徴収しない。

イ 旅費及び楽器運搬費は参加者負担とする。

各 公 立 中 ・ 高 等 学 校 長 }
各 特 別 支 援 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

平成 2 9 年 度 学 校 学 生 生 徒 旅 客 運 賃 割 引 証
(学割証) の 交 付 に つ い て (通 知)

平成 2 9 年 度 学 校 学 生 生 徒 旅 客 運 賃 割 引 証 (学割証) を 下 記 の と お り 交 付 し ま す 。

記

1 交 付 期 間

平成 2 9 年 7 月 3 日 (月) ～ 平成 2 9 年 8 月 3 1 日 (木)

2 交 付 場 所

学 校 教 育 課 総 務 係 (直 接 受 領)

3 交 付 枚 数

交 付 申 請 枚 数 ど お り

4 そ の 他

交 付 の 際、「受領書」 (別 紙 様 式 参 照) が 必 要 で す の で、あ ら か じ め 御 用 意 く だ さ い。

※ 上 記 交 付 期 間 中 に お け る 来 庁 ・ 受 領 が 困 難 な 場 合、又 は 遠 方 距 離 の 学 校 等 で

直 接 受 領 が 困 難 な 場 合 は、下 記 担 当 者 ま で そ の 旨 連 絡 願 い ま す。

5 問 合 せ 先

〒 6 3 0 - 8 5 0 2 奈 良 市 登 大 路 町 3 0

県 教 育 委 員 会 事 務 局 学 校 教 育 課 総 務 係 原 田

T E L 0 7 4 2 - 2 2 - 1 1 0 1 (内 線 5 2 5 6)

0 7 4 2 - 2 7 - 9 8 4 9 (直 通)

F A X 0 7 4 2 - 2 3 - 4 3 1 2

(別紙)

受 領 書

平成29年 月 日

奈良県教育委員会事務局
学 校 教 育 課 長 殿

学 校 名
代 表 者 氏 名

印

学校学生生徒旅客運賃割引証を下記のとおり受け取りました。

記

枚

各市町村教委教育長
各中・高等学校長
各中等教育学校長
各特別支援学校長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

第44回奈良県ジュニア美術展覧会の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、作品の応募についてよろしくお願ひします。
なお、本年は出品資格が拡大され、全ての中学生が応募できます。

記

1 趣 旨

県内の青少年の美術活動の充実と振興を図ることを目的とする。

2 主 催

奈良県、奈良県教育委員会

3 日時及び会場

平成29年9月17日（日）～平成29年9月24日（日） 午前9時から午後5時まで

ただし、19日（火）は休館、24日（日）は午後3時まで

奈良県文化会館 2階展示室 奈良市登大路町6-2

4 出品資格

県内に在住、在学又は在勤する者で、平成29年4月1日現在、中学生以上20歳未満の者とする。

5 出品作品の大きさ

（部門）

日本画 10号以上50号以内で、額装はガラス及びアクリルは使用しないこと。

洋 画 10号以上（水彩画及び版画は四つ切以上）50号以内（S50号を含む。最大幅116.7cm）。ただし50号斜めがけは不可。額装又はこれに準ずる仕様とする。

彫刻 高さ、横、奥行ともに2 m以内。重さ300 kg/m²以内とする。

工芸・デザイン 平面作品は、B2以上B1以内のサイズとする。立体作品は、50 cm立方換算(125,000 cm³)以内。重量は30 kg以内(揃え物の作品は原則として5点まで)。出品作品には正面を明確に明記すること。

書芸 仕上がり面積1.13 m²以内、ただし、高さ1.82 m以内とし、額装・軸装並びに仮表装とする。なお、釈文は所定の用紙に楷書で書き、作品の裏にのり付けすること。

写真 単・組・連作品とも四つ切(A4含む)以上とし、いずれも枠張り又は額装を含め横1 m、縦1.50 m以内とし、組・連作品は一枚に結合すること。

共通事項

- ・壁面に展示する作品は、必ず吊りひもを付けること。ただし、ビニール等伸縮性のもの及び麻紐・針金は不可
- ・額装はガラスを使用しないこと。

6 出品

各部門における出品数は、同一人につき2点以内とし、作品は出品者自身の創意による制作で、未発表のものに限る。違反した場合は、取り消すことがある。

※奈良県高等学校総合文化祭など、公募展に出品した作品は出品できない。

7 搬入及び搬出

- (1) 搬入 奈良県文化会館 9月12日(火) 午後1時～午後7時
- (2) 搬出 奈良県文化会館 9月24日(日) 午後3時～午後5時
9月26日(火) 午前9時～午後5時

(3) 出品手数料 無料

(4) その他

ア 出品の時は、部門ごとに所定の申込書を添付すること。

イ 本展覧会事務局において、出品を受理したときは、預り証を交付する。

預り証を紛失したときは、速やかにそのことを本展覧会事務局に届け出ること。

ウ 出品作品は、所定の日時まで搬出することはできない。

エ 出品作品を搬出するときは、預り証を提出すること。

オ 出品作品の荷造り、持参に要する費用は全て出品者の負担とする。

カ 出品作品の取扱いは十分に注意するが、不可抗力による作品の紛失、破損、その他に對しては責任を負わない。

8 審査

出品作品は、審査員による審査を行い、入選作品のみ展示する。

9 賞

ジュニア県展賞及びその他の賞に分け、入選作品のうち優秀なものに授与する。

10 表彰式

平成29年9月24日(日) 午後1時～午後2時

11 美術教室

平成29年9月17日(日)

部門	書 芸	写 真	洋 画	日本画	工芸・ デザイン	彫 刻
時間	午前10時 ～午前11時	午前11時 ～午後0時	午後0時 ～午後1時	午後1時 ～午後2時	午後2時 ～午後3時	午後3時 ～午後4時

12 事務局

奈良県文化会館業務課

TEL 0742-23-8921

平成29年6月22日

各市町村教委教育長 }
各小学校長 } 殿
各特別支援学校長 }

奈良県教育委員会教育長

平成29年度小学校運動会等の表現運動・ダンス指導者講習会の開催について（通知）

このことについて、下記により開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

小学校及び特別支援学校小学部における運動会等の表現運動・ダンスの指導について研究を深め、指導者としての資質向上を図る。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県小学校体育研究会

3 期 日

平成29年8月7日（月）

4 会 場

ジェイテクトアリーナ奈良（橿原公苑第一体育館） 橿原市畝傍町5-3

5 日程・内容

時 間	内 容	
10:00 ～ 10:30	開 講 式	開会挨拶、説明、ウォーミングアップ
10:30 ～ 12:00	講義及び 実技①	・フォークダンス ・リズム型ダンスの作品例（中学年）

13:30 ～ 16:00	講義及び 実技②	・民舞型ダンスの作品例 ・全校ダンスの作品例 ・リズム型ダンスの作品例（低学年） ・リズム型ダンスの作品例（高学年） (内容は講師の都合で変更することもある)
16:00 ～ 16:30	研究協議	運動会表現運動・ダンスの工夫

6 受講対象者

県内小学校及び特別支援学校小学部の教員

7 実技講師

奈良県小学校体育研究会研究員

8 申込方法等

- (1) 別紙様式により、7月19日（水）までに下記宛て郵送又はFAXで申し込むこと。

県教育委員会事務局保健体育課 学校体育係

〒630-8502 奈良市登大路町30

TEL 0742-27-9861

FAX 0742-22-3995

- (2) 定員は300名とする。先着順を原則とするが、地域性を考慮の上決定する。受講できない場合のみ勤務校に連絡する。
- (3) この講習会の参加について、奈良市立学校からの参加者は、奈良市教育委員会の指示に従って手続きをすること。

9 その他

- (1) 実技研修に当たっては、個人差に応じて研修できるよう運営するが、水分補給等については各自で準備・対応すること。
- (2) 欠席する場合は、学校長から保健体育課長宛てに欠席届（教育研究所発行、「研修講座ガイドブック」参照）を提出すること。
- (3) 参加者は下記のものを持参すること。
- ア 体育実技のできる服装及び体育館シューズ
- イ 筆記用具
- (4) 開催日の午前8時現在で県内のいずれかの地域で気象警報が発表されている場合は、中止する。なお、その場合、延期はしない。
- (5) 駐車台数に限りがあるため、できるだけ公共の交通機関を利用すること。

別紙様式

奈良県教育委員会事務局保健体育課 学校体育係 宛て

F A X 0 7 4 2 - 2 2 - 3 9 9 5

送付状は不要です。この用紙のみ送信してください。

平成 2 9 年度小学校運動会等の表現運動・ダンス指導者講習会
参加申込票

年 月 日

学校（所属）名 _____

下記のとおり申し込みます。

	氏 名	担当学年等	全日・午前・午後参加のいずれかに○を付けてください。
1			全日 ・ 午前 ・ 午後
2			全日 ・ 午前 ・ 午後
3			全日 ・ 午前 ・ 午後
4			全日 ・ 午前 ・ 午後
5			全日 ・ 午前 ・ 午後
6			全日 ・ 午前 ・ 午後
7			全日 ・ 午前 ・ 午後
8			全日 ・ 午前 ・ 午後
9			全日 ・ 午前 ・ 午後
10			全日 ・ 午前 ・ 午後

教 研 第 1 7 3 号

平成29年6月22日

各市町村教委教育長 }
各公立学校（園）長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

家庭教育支援講師の情報提供について（通知）

このことについて、別表のとおり講師の情報提供を行いますので、家庭教育に関する研修につきまして積極的な活用をお願いします。

記

1 目 的

保護者や教職員その他の家庭教育関係者が抱える家庭教育に関する課題を解決し、家庭教育が一層充実したものになるための支援を行うため、家庭教育の各分野において識見と経験に富む人材を登録し、人材の情報の提供を行う。

2 講師情報を利用する際の事務手続き等

講演等を希望する講師について、講演等の主催者は、「家庭教育支援講師情報を利用する際の事務手続きについて」＜別添＞及び「平成29年度家庭教育支援講師名簿」＜別表＞に基づき、教育研究所に「家庭教育支援講師紹介依頼書」＜別紙＞で申し込むこと。

3 経費について

講演等に係る経費は、全て講師依頼者の負担とする。

4 問合せ先

県立教育研究所教育経営部 教育企画係 森田

TEL 0744-33-8902

家庭教育支援講師情報を利用する際の事務手続きについて

1 講師の依頼

- (1) 講演等を希望する講師について、講演等の主催者は、「家庭教育支援講師情報を利用する際の事務手続きについて」及び「平成29年度家庭教育支援講師名簿」<別表>に基づき、教育研究所に「家庭教育支援講師紹介依頼書」<別紙>で申し込む。
- (2) 教育研究所からの講師紹介を受け、講演等の主催者は、下記2「依頼の際の配慮事項」に基づき、講師に講演等の依頼を行う。
- (3) 講演等の主催者は、日程決定後、教育研究所に報告する。

2 依頼の際の配慮事項

- (1) 講師依頼者は、講演等の主催者として、講演の日程調整及び内容の調整・企画等について、責任をもって対応すること。
- (2) 講演等に係る経費は、全て講師依頼者の負担とする。
ただし、別途定める「へき地学校に係る家庭教育支援事業実施要領」に基づいて、奈良県教育委員会と共催で実施することが承認されたものについては、この限りでない。

3 事後アンケートへの協力

講演等の主催者は、本事業を効果的で有意義なものとするため、アンケートに協力するものとする。

アンケートは、教育研究所のWebページから印刷し、FAX又は郵送で下記連絡先まで送付すること。

連絡先

県立教育研究所教育経営部 教育企画係 森田

TEL 0744-33-8902

FAX 0744-33-8909

平成29年度 家庭教育支援講師名簿

(敬称略)

番号	氏名	所属等	専門分野
		講演・指導等の内容	
1	池島 徳大 いけはま ともひろ	国立大学法人兵庫教育大学大学院特任教授	臨床心理学 学校教育臨床 生徒指導 家庭教育 子育て相談 指導者育成
		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長エネルギーを高める子育て ・ピア・サポート ・子ども同士のもめごと問題への対応 	
2	小嶋 洋平 こじま ひろへい	保育士	体育あそび
		子どもの体力向上	
3	周防 美智子 すおう みちこ	岡山県立大学保健福祉学科講師	児童福祉 子ども家庭福祉 スクールソーシャルワーク 児童精神保健
		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育ち ・子どもの権利 ・地域の子育て支援 ・園・学校における子ども理解と支援 ・児童虐待予防 ・いじめ予防 	
4	鈴木 洋子 すずき ようこ	国立大学法人奈良教育大学教授 博士(栄養学)・教育学修士	家庭科教育学 食育
		<ul style="list-style-type: none"> ・食生活に関すること ・子どものお手伝いに関すること 	
5	中田 章子 なかつた てるこ	奈良学園大学奈良文化女子短期大学部 講師 奈良市立認定こども園富雄南幼稚園 元園長	幼児教育
		幼児教育	
6	西本 達郎 にしもと たつらう	運動教室「わんぱくキッズ」代表	幼児・小学生の運動指導(未就園児可)
		幼児・小学生の運動指導(未就園児可)	
7	橋本 高志 はしもと たかし	地域教育支援みらいベグ代表 奈良市教育センター 9階運営会議アドバイザー	親子あそび 体育あそび 工作あそび 自然あそび レクリエーション(理論・実践) 野外活動 青少年活動 環境教育 コミュニケーションワーク グループワークトレーニング 障害のある青少年のキャリア教育
		<ul style="list-style-type: none"> ・親子で楽しむ体育あそび・工作あそび・自然あそび ・父親向け育児あそび教室・子どもとふれあいあそび ・ふれあいコミュニケーション講座・青少年活動・ボランティア活動 ・野外活動の理論・実践 ・レクリエーション理論・運営法・実践 ・親子のコミュニケーション ・将来の夢 	

番号	氏名	所属等	専門分野
		講演・指導等の内容	
8	法貴 和子 <small>ほうき かずこ</small>	子どもへの暴力防止(CAP)スペシャリスト コミュニケーションスキルインストラクター 心理カウンセラー 2級キャリアコンサルティング技能士	人権 暴力防止教育(CAPの活動 いじめ 連れ去り 虐待) コミュニケーション 心理カウンセラー キャリアコンサルティング
		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに勇気と自信を(CAPの活動) ・子どもが暴力を受けずに育つことの大切さ ・子どもが育つ毎日のコミュニケーション ・子どもに愛が伝わっていますか ・良い人間関係を築くコミュニケーション 	
9	山田 静代 <small>やまだ しずよ</small>	奈良YMCA 心理カウンセラー 臨床心理士 「心のフリースクール」チーフスタッフ・カウンセリング	親子の心理的な関係の問題 うつ
		<ul style="list-style-type: none"> ・教師のストレス ・クラス運営 ・子どもの問題は、子どもが困っている問題 	
10	横山 由紀子 <small>よこやま ゆきこ</small>	「会話の泉」事務局長 コミュニケーション・サポーター	気持ちを大切にするコミュニケーション
		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て ・ピア・メディエーション ・就職活動 ・アサーション ・聴く力 ・人間関係改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成 ・リーダー養成 ・地域活動の円滑化 ・シニアコミュニケーション ・人材育成 ・ハラスメント研修

<別紙>

家庭教育支援講師紹介依頼書

年 月 日

教育研究所長 殿

学校園名
校園長名
(団体代表者名)

印

担当者 職名 氏名

電話番号 () FAX ()

このことについて、下記のとおり申し込みます。

記

希望講師名	
希望日	年 月 日 () () 時 ~ () 時
実施場所	
講演テーマ 及び概要	
参加対象者 及び 参加予定人数	教職員 : () 名 保護者 : () 名 その他※ () : () 名 } 合計 () 名

※教職員、保護者以外の参加者のある場合は、() 内に具体的に記入してください。

(教育研究所記入欄)

教 研 第 1 8 1 号

平成29年6月22日

各市町村教委教育長 } 殿
各 園 長 }

奈良県教育委員会教育長

平成29年度奈良県幼児教育研究会実技研修会 の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教職員の参加についてよろしくお願
いします。

記

1 趣 旨

幼児理解を深める記録の方法として、「ポートフォリオの作成」についての実技研修を行い、
指導力を高めるとともに、幼稚園・認定こども園の教育・保育の充実に役立てる。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県幼児教育研究会

3 期日及び会場

平成29年8月8日（火）

大和郡山市平和地区公民館 大和郡山市若槻町4-4

4 参加対象者

県内幼稚園及び認定こども園の教員等（各園1名程度とする。）

5 日 程

13:40～13:50 開会行事

13:50～15:20 実技研修

15:20～15:30 閉会行事

6 研修内容

「ポートフォリオの作成について」

7 講 師

県立教育研究所教育経営部 教育企画係 指導主事 新田 晶子

県立教育研究所教育経営部 就学前教育アドバイザー 岡田 明美

8 準備物

プリントアウトした写真（加工してよいもの）10枚、はさみ、のり、上靴、筆記用具、
下靴袋

9 参加申込み

平成29年4月6日付け週報第2267号掲載の参加基本様式により、職名、氏名を記入の上、郵便又はFAXで申し込むこと。

公立幼稚園及び認定こども園は、7月7日（金）までに各郡市の幹事宛て申し込むこと。
各郡市の幹事は名簿を作成し、7月14日（金）までに下記宛て送付すること。

国・私立幼稚園及び認定こども園は、7月14日（金）までに直接下記宛て申し込むこと。

〒631-0002 奈良市東登美ヶ丘三丁目1168

奈良市立平城西幼稚園 園長 南波 早由美

TEL・FAX 0742-47-0507

10 その他

駐車台数に限りがあるため、公共の交通機関を利用すること。

各市町村教委教育長 } 殿
各 園 長 }

奈良県教育委員会教育長

平成29年度奈良県幼児教育研究会教育講演会 の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教職員の参加についてよろしくお願
いします。

記

1 趣 旨

幼児教育の専門性を高めるとともに、多様化する教育課題に対応する指導力の向上を目指
す。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県幼児教育研究会

3 期日及び会場

平成29年8月24日（木）

生駒市コミュニティセンター 生駒市元町1丁目6-12

4 参加対象者

県内幼稚園及び認定こども園の教員等

5 日 程

14:15～14:30 開会行事

14:30～16:00 講演

16:00～16:10 閉会行事

6 講 演

演題 「子ども『が』夢をかなえるために～競技スポーツでのサポート・保育の中でのサポ
ート～」

講師 大阪体育大学 特任教授 岡澤 祥訓

帝塚山大学現代生活学部こども学科 教授 岡澤 哲子

7 参加申込み

平成29年4月6日付け週報第2267号掲載の参加基本様式により、職名、氏名を記入の上、郵送又はFAXで申し込むこと。

公立幼稚園及び認定こども園は、7月14日（金）までに各郡市の幹事宛て申し込むこと。各郡市の幹事は名簿を作成し、7月24日（月）までに下記宛て送付すること。

国・私立幼稚園及び認定こども園は、7月24日（月）までに直接下記宛て申し込むこと。

〒633-0067 桜井市大福356

桜井市立桜井西幼稚園 園長 森 和美

TEL・FAX 0744-42-9107

8 その他

会場には駐車場がないため、公共の交通機関を利用すること。

各市町村教委教育長 }
各公立学校（園）長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

へき地学校に係る家庭教育支援事業について（通知）

このことについて、別紙のとおり実施要領を定めましたので、へき地学校の関係者の活用をお願いします。

記

1 目 的

へき地学校における保護者や教職員その他の家庭教育関係者が抱える家庭教育に関する課題の解決に向けて、へき地学校関係者が実施する「家庭教育に関する講演会や研修会等」に対し、支援を行う。

2 経費について

「へき地学校に係る家庭教育支援事業実施要領」（別紙）で定める手続きを経て支援対象とされた講演会等については、県教育委員会との共催事業と位置付け、講師に支払われる謝金の一部を県教育委員会が負担する。

3 受付期間

平成29年7月14日（金）必着

4 申込みについて

「へき地学校に係る家庭教育支援事業申請書兼計画書」（様式1）に必要事項を記入して、下記宛て郵送で申し込むこと。

（申込先） 〒636-0343 磯城郡田原本町秦庄22-1

県立教育研究所教育経営部教育企画係

TEL 0744-33-8902

5 その他

様式2から様式6については、教育研究所のWebページ「家庭教育」に掲載している。

へき地学校に係る家庭教育支援事業実施要領

1 目的

へき地学校における保護者や教職員その他の家庭教育関係者（以下「へき地学校関係者」という。）が抱える家庭教育に関する課題の解決に向けて、へき地学校関係者が実施する「家庭教育に関する講演会や研修会等」（以下「講演会等」という。）に対して、支援を行う。

2 支援の方針

へき地学校に係る家庭教育支援事業実施要領（以下「本要領」という。）で定める手続きを経て支援対象とされた講演会等については、奈良県教育委員会（以下「県教委」という。）との共催事業に位置付け、講師に支払われる謝金の一部を県教委が負担する。

3 支援の対象等

(1) 支援の対象となる講演会等

へき地学校関係者が実施する講演会等

(2) 支援の方法

支援対象とされた講演会等を、県教委との共催事業と位置付け、講師に支払われる謝金の一部を県教委が負担する。

(3) 支援の限度

県教委が負担する謝金の限度額は、13,000円とする。

4 支援の事務手続き等

(1) 支援の申込み

ア 申込期間：週報、奈良県立教育研究所（以下「研究所」という。）Webページに掲載

イ 申込方法：「へき地学校に係る家庭教育支援事業申請書兼計画書」（様式1）により、研究所宛て申し込む。

(2) 支援の選考

上記(1)に基づく申込みが多数の場合は、研究所において選考を行う。その結果については、申込者に対して通知する。

(3) 支援対象とされた講演会等の実施方法

支援対象とされた講演会等については、当該講演会等の企画・実施者は、県教委との共催事業と位置付けて実施するものとする。

なお、当初に提出した計画書に変更（軽微な変更を除く）が生じた場合は、変更計画書（様式2）を研究所に提出し、承認を得なければならない。

（4） 事業報告

支援対象とされた講演会等の企画・実施者は、講演会等が終了した後、速やかに、へき地学校に係る家庭教育支援事業実施報告書（様式3）、同収支決算書（県負担分を除く）（様式4）、家庭教育支援講師実施事業実施要領に定めるアンケート（様式5）及び口座振替書（様式6）を研究所に提出しなければならない。

（5） 謝金の支払い

研究所は、上記（4）の事業報告の書類を受理した場合において、その内容が適切であると認めるときは、謝金の額を確定し、支払うものとする。

5 その他

講演会等の企画・実施者は、別途定める「家庭教育支援講師事業実施要領」を参考とするものとする。

ただし、「家庭教育支援講師事業実施要領」により情報提供する講師以外の講師を招致しての講演会等についても、支援の対象とする。

附 則

本要領は、平成29年4月1日から施行する。

へき地学校に係る家庭教育支援事業 申請書兼計画書

年 月 日

奈良県立教育研究所長 殿

へき地学校名 _____

代 表 者 名 _____ 印
(校長名)
(団体代表者名)

このことについて、共催事業として位置付けていただくよう、下記のとおり申請
します。

記

参加対象者 及び 参加予定人数	該当する対象者の参加人数を記入してください。 教職員 _____名 保護者 _____名 その他 _____名 (※) 合 計 _____名 ※教職員、保護者以外に参加のある場合は、() 内に 具体的に記入してください。
研修日時	
研修テーマ 目 的 等	
担当者の職・氏名	
連絡先	電話番号
	F A X
	E-mail